

平成 27 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立旭陽中学校 学校協議会

1 総括についての評価

- ・学校教育 ICT 事業モデル校先進的取り組み校として年 2 回の公開授業、年 1 回の研究授業・研究協議を実施し、ICT 機器活用による協同学習やわかりやすい授業研究を進め、指導方法の工夫・改善を図ることができた。
- ・家庭学習習慣の定着を図るため、全学年で計画的に家庭学習の実施、点検を徹底し「自ら学習する力」を身に付けることができた。
- ・日々の挨拶運動、学校の規則を守り基本的な生活習慣を身に付けられるよう、生活指導部中心に指導を進めた。
- ・各視点「学力の向上」「道徳心・社会性の育成」「健康・体力の保持増進」「教職員の資質・能力の向上」「学校組織の活性化」の年次目標は、ほぼ達成している。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・全国・学力学習状況調査の結果では、大阪市の平均正答率をほぼ上回った。 ・国語・数学・英語において計画的に習熟度別少人数制授業など、指導方法の工夫・改善を計画的に進めた。 ・ICT 機器を活用した「わかりやすい授業」「協同学習」の研究を進め、全市に発信した。
年度目標：道徳心・社会性の育成
<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査における「自分によいところはあると思います」の項目について「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答えた割合は 68.9%とほぼ全国平均を上回った。 ・「自尊感情」が高いのは、縦割りで取り組む体育大会や、各行事で生徒会中心に生徒が主体的に活動している成果である。 ・学校アンケートの「命や人権の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」では、肯定的な回答が 88.1%と昨年を上回っている。更に道徳を含めて、生徒が確かな人権感覚を身に付けられるよう推進していく必要がある。
年度目標：健康・体力の保持増進
<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の授業では、ICT 機器の活用により、興味関心を持ち運動量を高める授業を進めた。 ・防災教育では、3月に地域・区役所と連携した取り組みを土曜授業で実施し、未来の防災リーダーになる学習を進めた。
年度目標：教職員の資質・能力の向上
<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員が増えてきていることから、校内研修担当者中心に、5年次までの教員を主に研究授業を実施し、アクティブラーニング形式で研究協議を進め、授業力向上を図った。 ・学校教育 ICT 事業モデル先進的取り組み校として年 2 回の公開授業、年 1 回の研究授業・研究協議を実施し、協同学習やわかりやすい授業研究を、全市に発信した。 ・公開授業週間を設け、一人 2 回以上の公開授業を実施し、全教員で授業改善・指導力向上を図った。

3 今後の学校運営についての意見

- ・学校運営で成果が上がっている長所は更に伸ばし、短所は改善するよう、現在の体制を継続し取り組んで欲しい。
- ・学校運営の良い成果は、地域の教育力が大きい。学校を支援しようという地域の力を大切にしたい。
- ・人をつくる場所が学校であることに使命を持って学校運営に取り組んで欲しい。